

県議会議員

あらい、絹世の磯っ子レポート

県政をもっと身近に



<http://www.arakinuyo.jp>

「攻めの姿勢」一般会計初の2兆円台 神奈川県2016年度予算案を審議

世界で不安定な経済状況が続き、日本でも経済再生への試みが紆余曲折をみせていますが、昨年夏、第2期の総合計画を策定し「神奈川から経済のエンジンを回していく」とする黒岩祐治知事は、2月15日に開会した県議会平成28年第1回定例会本会議に平成28年度の当初予算案を提案し、審議が進められています。一般会計2兆0,137億円、特別会計1兆2,477億円、企業会計1,082億円を合わせた3兆3,698億円です。これは前年度の当初予算より0.2%の増となっています。特に影響の大きい一般会計は初めて2兆円台に上り、前年度当初比3.3%増となっています。一般会計では人件費や介護・医療・児童関係費など政策的経費に回すことのできない義務的経費が82.6%を占め、依然として財政硬直化が続いていますが、税収の増加が見込まれるとあって、積極的な予算を組んだとしています。この中には病気になる前段階の「未病」対策の取り組み、生活支援ロボットの開発、エネルギーなど黒岩カラーとともに県立高校改革や企業誘致策なども掲げられています。予算案は今議会最終日の3月24日の本会議で採決されます。

【一般会計の中の注目される事業は次の通り】

- ラグビーW杯、東京五輪・パラリンピック大会に向け人を引き付ける神奈川づくりの一環として県民ホール、県立音楽堂の設備改修を行い、その機能を十分発揮できるようにする=1億5,210万円(音楽堂は2016年度は設計費のみ)
- 手話言語の普及推進。4921万円。イベント開催、学習教材作成、講習会実施等。
- 地球温暖化対策の一環としてスマート水素ステーションを導入する。モデル事業として横浜のビール工場内に設置=1億6,254万円。
- 小規模企業支援強化事業補助。応援隊を設け、施策周知や支援を必要とする企業の掘り起こしを行い、経営課題解決に向けた支援を実施=6,000万円
- 市町村地域防災力強化事業費補助。マンションの耐震化、住宅の不燃化に関する取り組みの拡充や消防団・自主防災組織の強化に資する取組=10億円
- 地域防犯力強化支援事業。防犯カメラの設置(2016年度は160台)や地域防犯活動活性化のモデルとなるような取り組みへの支援=3,180万円
- 交通安全施設整備。信号機や道路標識・表示、安全施設など=31億9,200万円
- 子どもの貧困対策の新たな取り組み。対策会議の設置、ポータルサイトの設置・運用、実態把握と分析・施策提言や子ども・青少年の夜間の居場所づくり=1,880万円
- 2023年度までに県立学校のトイレ洋式化。事前調査と試行工事=1億7,100万円
- ヘリコプター搭載テレビシステムの整備=3億5,800万円
- 県立がんセンター患者支援。アビランス(がん患者の外見の変化の悩み)センター、リハビリセンターの開設費用=861万円と1,112万円



コレが言いたい!

平成28年度は税収の増加が見込まれる事から、2兆円を超える予算案となりました。しかし、年明け以降株価下落など不安材料が出ており、景気の先行きは依然として楽観視できず、平成29年度の税収は厳しい状況が予想される事から、動向を注視していく必要があります。平成28年度予算案も無駄を省くようしっかり審議する必要があります。



3月27日(日)「堀割川の日」のイベントの一環として、八幡橋側、動物検疫所で「花見会」が開催されます。(時間:10時~15時 雨天中止 主催:堀割川の魅力づくり実行委員会)現在、県では八幡橋下流右岸に親水護岸の整備を進めていますが、誰もが水辺に親しめる場となるよう取り組んでいきます。

磯子 あれ？ これ？

磯子小学校

磯子小学校は明治6(1873)年、磯子村真照寺内に「真照寺学舎」として開設されたのが始まりです。区内でも長い歴史を持つ学校のエピソードを紹介すると、

●昭和14年に校舎改築時に出た古材を使い、農作業教室と精神修養を兼ねた「洗心寮」が、現横浜学園付近の高台に作られ、子供達は礼儀作法やお茶の飲み方などを教わりました。当時としては類を見ない施設で地元の人達の自慢でした。昭和44年に体育館の建設により解体されましたが、洗心寮の額は現在職員室横に飾られています。

●昭和23年から大蔵省に勤めていたPTA役員の発案で磯子小学校にも「子供銀行」が開設されました。横浜銀行の行員の指導で子供達が銀行員になり、自分の通帳を作りお年玉などを預けました。当時の卒業生の女性によると、この時の積立金は、6年生の時の関西方面への修学旅行の費用の一部に活用されたそうです。昭和27年11月に活動が評価され、大蔵省から「優良子供銀行」の表彰を受けました。

●昭和33年11月に横浜市内の小学校で初めて児童会役員の直接選挙がおこなわれました。5、6年生から立候補した児童が演説したり、ポスターを貼るなど実際の選挙を見做って実施され、4年生以上の児童が投票し、会長、副会長などを選びました。

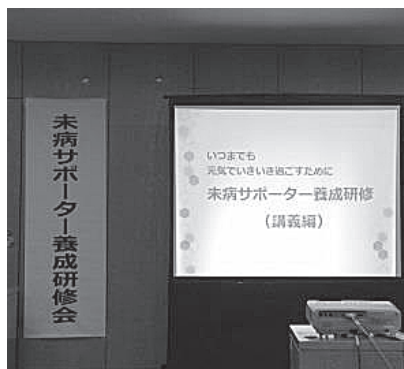
参考資料: 磯子の史話・磯子小学校創立130周年記念資料集・卒業生の話

活動報告

○2月8日、磯子区内の県・市議員による「磯子区議員団会議」が開催され、会議の中で「証明発行サービスのあり方の検討結果について」の報告を受けました。

平成29年1月より5種類の証明書(住民票の写し・印鑑登録証明書・戸籍証明書、記載事項証明書、戸籍の附表)がコンビニで交付可能となります。発行出来るのは、セブンイレブン・ローソン・ファミリーマート・サークルKサンクスのマルチコピー機設置コンビニ(区内44店舗)で、発行の際には個人番号カードが必要です。

○未病を治す取組みの普及と健康寿命の延伸のため、食や運動、社会参加など生活習慣の見直しによる健康づくりを地域の皆様に広める「未病サポーター」の養成研修を受講しました。ロコモ運動や認知症予防運動「コグニサイズ」などの運動を通じて未病を治す取組みの普及に取り組んでいきます。



コグニサイズの実技研修

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成27年4月 県議会議員2期目当選
- 県民企業常任委員会委員
- 行財政改革・地方分権特別委員会副委員長
- 自民党神奈川県議会議員団政務調査会副会長

